

温室効果ガス 排出削減対策セミナー

H30.3.1

埼玉県温暖化対策課

目次

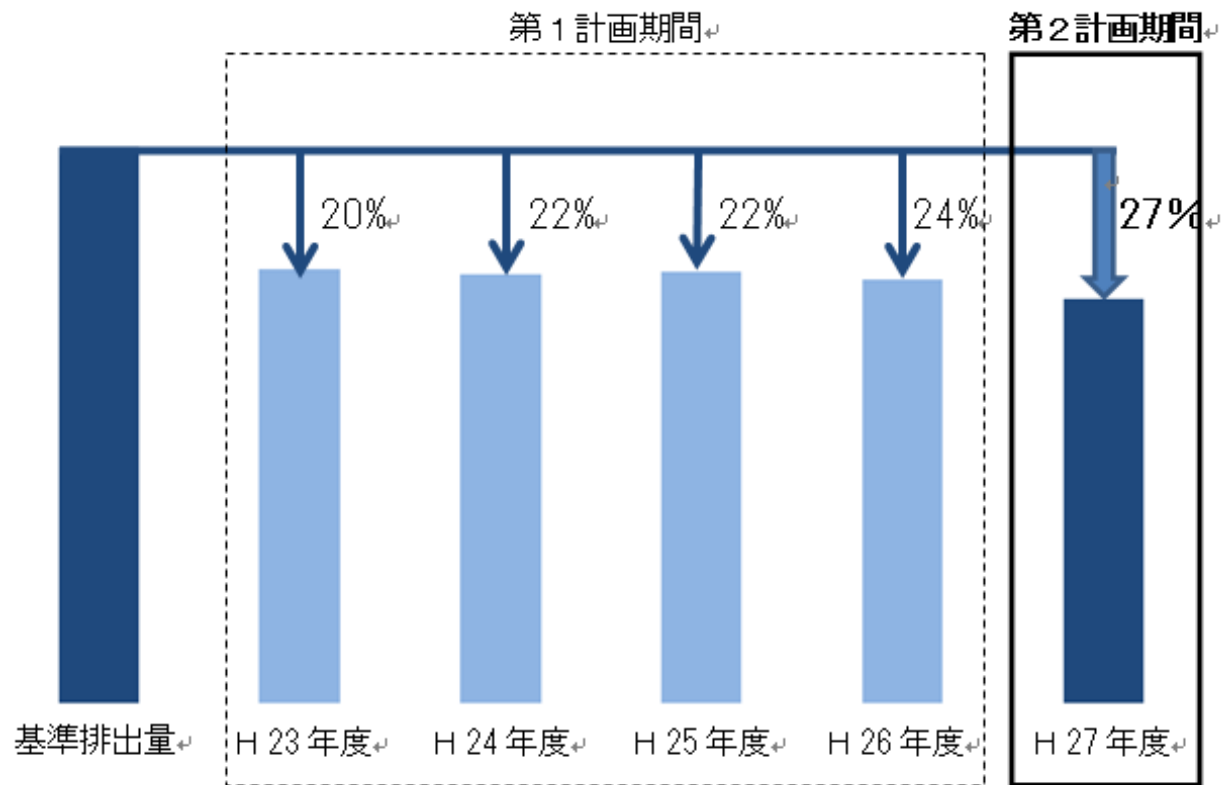
1. 平成27年度の排出実績について
2. 平成29年度の事業実績について
3. 平成30年度の新事業について

1. 平成27年度の排出実績について

	目標削減率	事業所数	CO2排出量	基準排出量に対する削減率	基準排出量
工場等	13%	404	628万トン	28%	868万トン
業務ビル等	15%	165	118万トン	26%	158万トン
合計	—	569	746万トン	27%	1,026万トン

- ・ 平成27年度は、全体で基準排出量比27%減！
- ・ 430事業所（76%）が自らの対策で目標削減率以上

1. 平成27年度の排出実績について



- ・ 第1計画期間は目標（6・8%）以上の削減（基準比22%）
- ・ 第2計画期間も削減は進んでいる

2. 平成29年度の事業実績について

(1) 現地調査 (45件)

対象：目標達成には更なる省エネ対策が必要な事業所、中小企業など

目的：簡易省エネ診断・意見交換

(2) アンケート (150件)

対象：大規模事業所をもつ県内事業者

目的：省エネ診断の実施・対策状況など

(1)現地調査について

簡易省エネ調査の結果

- ・ 平均約3%の省エネ余地（運用0.5%、投資2.9%）
- ・ 照明、空調、コンプレッサー
- ・ EMS等見える化導入して分析しているが、次の対策？

事例紹介

- ・ 蒸気配管の排熱ロス試算
- ・ 省コスト以外の価値
 - 水銀灯からLEDで時短
 - EMSで効果を見える化



2. 平成29年度の事業実績について

(2) アンケート調査について

期間：平成29年9月29日～平成29年10月13日

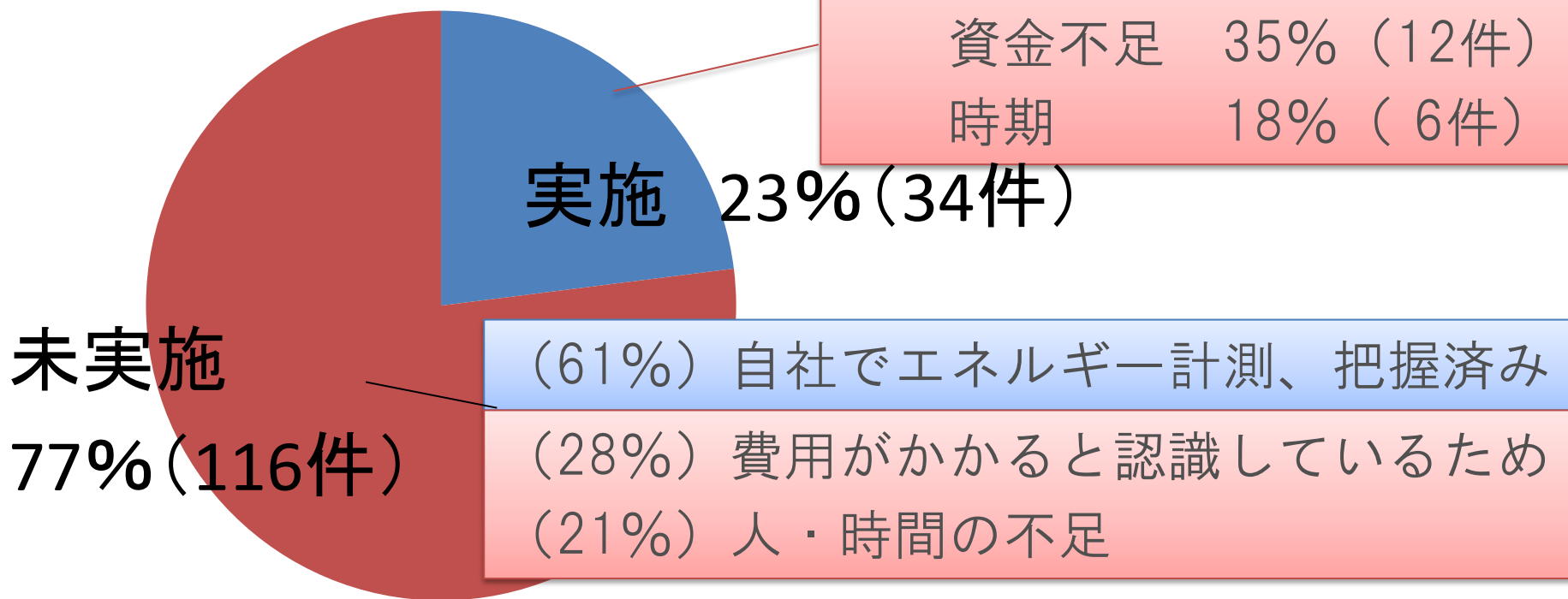
対象：大規模事業所を有する事業者

内容：省エネ診断の実施状況及び省エネ対策について

回答：150件

(2) アンケート調査について①

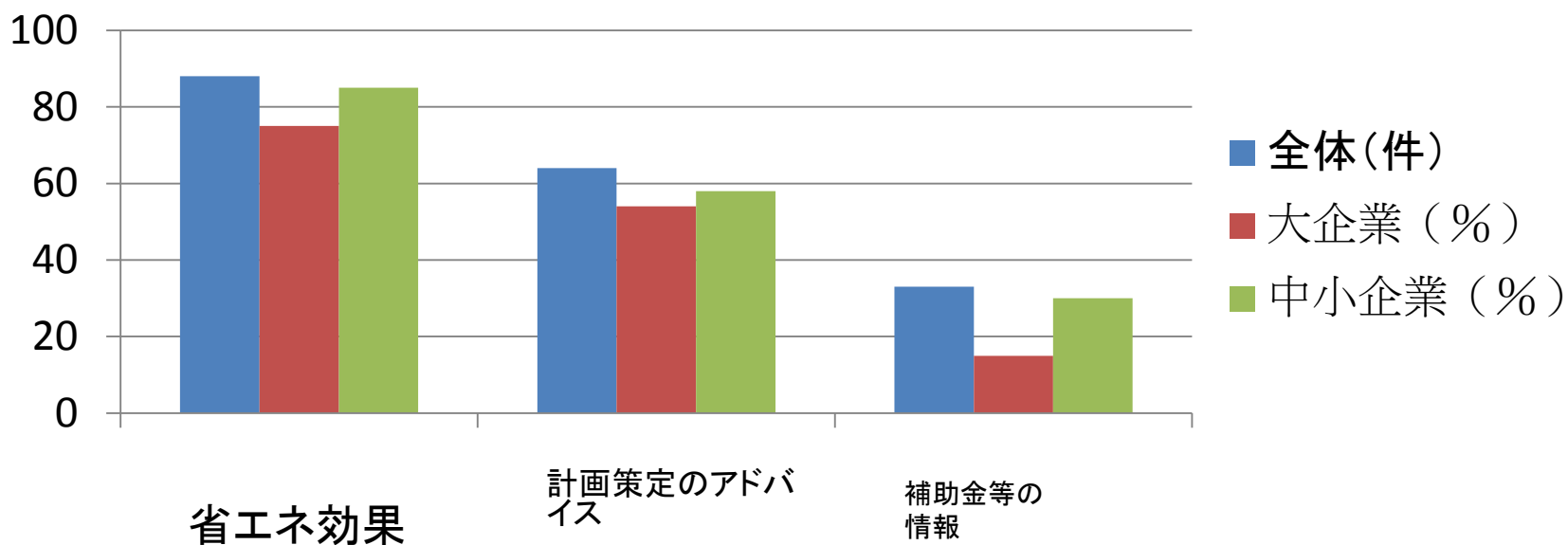
<省エネ診断の実施>



- ・ 省エネ効果が高くても実施できないケースもある
- ・ 未実施の理由はさまざま

(2) アンケート調査について①

＜省エネ診断で知りたいこと(未実施者)＞



- ・ 省エネ関連の情報を必要としている事業者は多い
- ・ 中小企業は補助金等に関心が高い

(2) アンケート調査について①

<省エネ対策を困難にしている理由>

- ・ 人材および時間がない (37%)
 - ・ 他に優先する課題がある (34%)
 - ・ 削減効果 (費用対効果) が分からない (28%)
 - ・ 投資回収年が長い (26%)
- ・ 他の優先課題があったり、削減効果が分からないため、省エネ対策の優先度が低い。

3. 平成30年度の新事業について (予定)

- ・ 省エネ調査事業 (仮)

対象：大規模事業所

内容：専門業者による省エネ調査 (計測あり)

- ・ CO2排出削減設備導入緊急支援事業 (仮)

対象： (大規模事業所) 中小企業等

補助対象事業：CO2排出削減設備の整備

補助率等：補助対象経費の1 / 3